

播磨町の幼稚園、小・中学校の先生も 暑い夏季休業中に 熱い教職員研修 がんばりました!!



播磨町では、夏季休業中に特別支援教育、生徒指導（不登校問題）、情報教育、人権教育、教科研修など様々な研修会が開催されました。教員は自主的に研修を選び、その研修会のひとつ、播磨ライオンズクラブ主催で開催された「思春期のライオンズ教育」のライオンズクエスト研修をご紹介します。

▼問い合わせ 学校教育グループ ☎079(435)0545

ワークショップに先立ち、7月30日には、ライオンズクエストセミナー研修を行い、47人の教員が参加しました。



ワークショップ研修「思春期のライオンズ教育」
NPO法人「青少年育成支援フォーラム」から外川澄子先生をお迎えし、8月10日、11日の2日間にわたり、1日8時間、計16時間という密度の濃いワークショップ研修を実施しました。

この研修は、子どもたちに日常生活で生じる様々な問題をうまく解決する能力である「ライオンズスキル」を身につけさせることを目的とします。言い換えれば今学校教育でいわれている「子どもたちの「生きる力」を育成することです。

写真の説明

- ① 輪になって自己紹介です
- ② 他人から見た自分の長所を書いてもらいます
- ③④ 青少年の非行防止ポスターを班ごとに作成し、発表します
- ⑤ いよいよ修了式です「おめでとうございます」と参加した教員が互いの“がんばり”を讃えます



具体的には、
・人の考えを理解し受け入れ、自分の考えを伝えるなど、人間関係を上手に築くコミュニケーション力
・自分の感情をコントロールし、適切に表現する力
・様々な状況下で、責任ある行動を選択する意志決定能力
・たばこやアルコール、薬物などの誘いに対処する力
・自分の力を人の役に立てるためのボランティア活動を考える、実践する力を育成することです。



まずは打ち解けあうこと

初日は、自分の心を開くために、お互いの顔が見えるように円形に座り工夫された自己紹介などを通して知らないもの同士が少しずつ人間関係を構築し、互いに打ち解けあう学習からスタートしました。

いよいよワークショップ

実際のワークショップでは、教員が7人程度のグループに分かれ、与えられた課題に対して全員で指導案を考え、これを子ども役の他の教員の前で授業をしました。その授業の中では、相手をほめる言葉や悪い誘いの断り方、自分の意志決定などを具体的に体験しました。

研修の感想

参加した教員は研修を通して常に、和気藹々として生き生きと研修に参加していました。最後に参加者の感想や意見をご紹介します。
●これを学級開きや学校の様々な場面で使えそう
●学級経営で生かされると同時に自分の人間関係の構築にも役立ちそう
●職員室での人間関係や子どもたちの問題解決のきっかけにたかえそう
●相手の気持ちを実感し自分をうまくコントロールできそうなど

これからの教育活動に生かせる前向きな意見、感想でした。

PTA地区別親子綱引き大会



▲やったぜ！V

播磨南中学校

8月22日(土)午前9時より、播磨南中学校体育館において恒例の『PTA地区別親子綱引き大会』が実施されました。

各地区とも、保護者3人、男子生徒3人、女子生徒3人からなる合計9人の選抜チームです。今年も19チームの参加を得て、真剣な戦いが繰り広げられました。

勢い余ってスッテンコロリン。大熱戦の末、優勝の栄冠は本荘中チームに輝きました。そして準優勝は古宮2チームでした。

白熱した接戦の中、保護者と子どもたちの交流が深まり、地域の所属意識を高める大変有意義な一日になりました。これからも、保護者の方々ははじめとする地域の皆さまのご協力をよろしく願います。



満天の星に歓声があがる



▲雨でもお弁当はおいしいね

播磨西小学校 4年生

7月8日(水)(七夕の翌日) 明石天文科学館へ校外学習に行ってきました。あいにく梅雨空で時折ぼつぼつと雨粒が落ちてくるうつつとらしい天気でした。しかし、プラネタリウムの大天空はすっかり夏空。きらきら輝く星に「うわぁー」という歓声があがりました。「七夕の話」や「星座の話」「太陽と月の動き」など、おもしろくて楽しい説明に拍手も起こりました。おりしも2週間後には、46年ぶりの皆既日食観測の日を迎えるため、「日食の説明」や「安全な観測の仕方」もわかりやすく教えていただきました。プラネタリウム学習の後、雨よけのできる場所にシートを敷いてお弁当を食べました。みんなの顔が、さつき眺めた星のようにきらきらと輝いていました。館内の展示物を見たり、展望室からの人丸の町を眺めたりして楽しむことができました。夏の思い出の1ページになりました。

海で、山で、生き物観察 — 環境体験学習 —



▲木には何がいたのかな？

播磨南小学校

「獲ったとー！」雨の中、ひざまで海につかっただ子どもの手には、でっかいクラゲ！赤穂御崎はあいにくの雨。これも自然と開き直って、海辺の生物のすみか作りに一生懸命の子どもたち。カニやヤドカリを捕まえては、住みやすい環境を作っていました。

そして、10日後…。子どもたちが必死で探しているのは虫です。「○○さん。早く早く」グループのボランティアーリーダーさんが、大きな声で呼ばれています。子どもが指さす先には20センチほどもあるムカデ。さすがにこれは捕まえられずに、証拠写真をパチッ。三木山森林公園では、美しい鳥のさえずりとかくわしい木の香りに心を癒されながら、森にすむ生き物のすみか作り。今年度の環境体験学習のキーワードは、「生き物のすみか」。地球上の多種多様な生物が生きる環境と人間の生活について考えたいと思います。

サンドイッチレストランへようこそ！



▲よろこんで食べてくれるとうれしいな

播磨西幼稚園

「キュウリできょう」と幼稚園の畑で大きくなったキュウリを見つけた年長児。「幼稚園で採れたキュウリやからみんなで食べよう」「そうや、サンドイッチ作ろう」「レストランしよう」と、サンドイッチレストランを開店することになりました。

チケットを作ったり遊戯室を飾りつけしたりと、いろいろなアイデアを出し合いながら準備している子どもたちの姿は頼もしく見えしました。

アゲハチョウ



▲これがアゲハチョウになるんだ

播磨幼稚園

パセリのプランターに、たくさんのアゲハチョウの幼虫をみつけました。全部で10匹です。さっそくパセリの枝に乗せて、幼稚園に連れてくると、「わあ、これ何」「すごいな」「こわあ」「触ったらやわらかい」など、興味津々。それがアゲハチョウの幼虫であることを知り、「へえー」と、驚く子どもたち。パセリの葉を、みるみるうちに食べてしまうのを見て、幼虫の食欲にびっくり!! ある日、さなぎになったのを見て、またびっくり!! ちょうになる日を楽しみにしていました。

数日経った朝…。階段の隅でパタパタと羽を広げているアゲハチョウを見つけた。「アゲハになった」「すごい!」「羽を広げたらおおきいなあ」それはまるで、登園してくる幼児を出迎えているようでした。このアゲハチョウがいつまでも、播磨幼稚園についてくれるとうれいすね。

びっくり大根



▲こ～んなに大きな大根です!!

キューピット保育園

「うんとこしょ、どっこいしょ」大きなかぶのお話は知っているけれど、こんな大きな大根は今まで見たことがないと目を丸く、口をポカンと開けて大根を見つめている年長児の子どもたち。このとびきり大きな大根は、地域に住む畑作りが大好きなおばさんからのプレゼントです。「私もこんな大きな大根を育てたのは初めてで、ぜひ子どもたちに見せてあげたい」と持ってきてくださいました。

「ほくとどっこいしょが大きいかな」と大根と背比べする子。大根のそばで「きゃっきゃ」と言いながらみんなで抱きかかえようとする子。「この大根を食べたらおいしいかな」という子。子どもたちの豊かな心やちやめつけな姿を目の当たりにして、私たち保育者はほほえましく感じ、今後子どもたちの想像力が膨らむ楽しい保育を目指していきたいと思いをしました。